

2019 秋の例会

# ピアノと ソプラノとバリトンの午後



Kei Yasaka

《 ソプラノ歌曲3曲 》

「一人ずまい」  
「リュートに寄せて」  
「春の小川のほとりで」

《 四人の作曲家による競作 》  
ゲーテ「ミニョンの歌」4曲

《 邦詩で歌うシューベルト 》

「ます」  
「よろこび」  
「楽に寄せて」  
「魔王」

「春の信仰」  
「水の上で歌う」  
「菩提樹」  
「セレナーデ」

「プロメテウス」

《 三つのピアノ曲 》

即興曲 D935-2 変イ長調 ほか

## 演 奏

ソプラノ： 牛津佐和子  
バリトン： 草刈伸明  
ピアノ： 阪本田鶴子

2019年11月16日（土） p m2:00 開演（1:30 開場）

会場：サローネ・フォンタナ 参加費 3000 円

主催：国際フランツ・シューベルト協会

## 協会創立 30 周年を祝して

気がついてみれば、まもなく協会創立 30 周年を迎えることとなりました。そこで今回は、シューベルト協会設立の年からの会員であるピアニスト、阪本 田鶴子さんに出ずっぱりで頑張っていたいただく例会を企画致しました。そしてその阪本さんから、ずっと昔にいただいていた企画書のことを思い出し、さっそくプログラムに取り込みました。ゲーテの詩「ただ憧れを知る人だけが」に作曲した四人の作曲家、ベートーヴェン、シューベルト、シューマン、そしてチャイコフスキー。ソプラノの牛津さんの歌声で、どうぞ聴き比べをお楽しみください。

一方、30 周年と言えば忘れることのできない存在が、初代代表である実吉晴夫と彼の作った実吉邦詩の数々。今回はそれらをバリトンの草刈さんに歌い上げて頂きます。

そして無論のこと、阪本さんのソロもお楽しみいただけます。いわば祝年前年祭とも云える今回の例会、どうか、こぞってご参集ください。

予約ご希望の方は、下記宛にお申し込みください。

〒165-0033 中野区若宮3-28-2

国際フランツ・シューベルト協会（担当・杉山）

TEL 03-3330-8378

なお、協会のホームページ (<http://schubertiade.jp>) から申し込みことができます。  
(E-mail アドレスは、[member@schubertiade.jp](mailto:member@schubertiade.jp) です。)

### サローネ・フォンタナ ご案内

小田急線「成城学園前」駅北口に出て、正面の大通り(桜並木)を直進、桜並木がちょっと途絶えたあたりで赤い郵便ポストが道路右に見えて来る（ここまで約 10 分）。ポストの手前の四つ角を右折・直進。橋を渡って、上り坂を上り切ると突き当りは駐車場。そこを道なり左折してすぐ、左側二軒目の家。（全体で徒歩 15 分）

